

[平成 30 年度 予算 概要]

【平成 30 年度 予算 編成の 基本方針】

わが学園は、建学の精神「感恩」を心得、実践する人を育成し、豊かな未来社会をつくることをその使命としています。

各校園は、その実現に向けてそれぞれの基本理念（使命 教育理念 教育目的 目標）を掲げ、総力を結集して教育事業活動に邁進しています。

教育事業活動を遂行する主たる財源は、学生・生徒・園児からの学納金です。彼らの「夢と志」を伸ばし育てるため 限られた財源で 最大限の教育効果をあげなければなりません。

平成 30 年度 予算 策定にあたり、以下に学園 予算 編成 基本方針を示します。

1. 学園の発展的継続・改革を支える財政基盤の一層の充実を図っていく
事業活動収入（学納金、経常費補助金及び競争的外部資金の獲得、寄付金、その他の収入他）の安定と拡大を図る
2. 学園第 3 期中長期計画、平成 30 年度 学園 行動計画 推進に向けた 予算 措置を重視する
3. 教育の質及び研究力の向上に向けた投資は、積極的に行う
4. 構成員全員による経営観念を意識した、教育への投資効率の向上を追求する
部門別「標準運営費」概念の定着と実践
費用対効果を最大限に追及
5. 適切な組織作り（健全収支計画を注視）と人員配置計画による総人件費の制御を行う

【資金 収支 計算書】

平成 30 年度 予算 は、施設や設備など投資に係る支出が大きいことにより、収支の均衡を欠く 予算 編成となりました。

資金収入は、学生・生徒等の減少により学納金も減少しましたが、学園新校舎に伴う第 2 号基本金引当特定資産取崩収入が大きく、前年度比 315 百万円増の 6,173 百万円となりました。

資金支出は、学園新校舎建設や幼稚園から認定こども園への移行など、積極的な投資を含んだものとなり、前年度比 466 百万円増の 6,339 百万円となりました。

その結果、資金収支差額が△166 百万円となり、次年度繰越資金が減少する 予算 編成となりました。

【事業活動 収支 計算書】

事業活動収入は、学生・生徒等の減少により学納金も減少し、前年度比 85 百万円減の 5,773 百万円となりました。

事業活動支出は、前年度において旧校舎解体に係る多額の教育研究経費があったため、前年度比 235 百万円減の 5,899 百万円となしました。

基本金組入額は、学園新校舎や認定こども園新園舎の建設等があるため、前年度比 316 百万円増の 634 百万円となりました。

その結果、基本金組入前当年度収支差額は前年度比 150 百万円増で△126 百万円、基本金組入後の当年度収支差額は前年度比 166 百万円減で△760 百万円となり、翌年度繰越収支差額が減少する 予算 編成となりました。

以上